

令和3年度使用中学校用教科用図書採択理由

採択地区名 安芸郡教科用図書採択地区

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東書	<p>単元を通して、主体的に取り組むことができる工夫として、単元の冒頭に「学びの扉」で必要感のある課題意識をもたせ、単元末には、目標に対する自己の変容とともに日常生活に生かす視点で「振り返り」が設定されている。</p> <p>また、学習過程の要所に「学びを支える言葉の力」や「言葉の力」で言語活動を充実させることにより、思考力・判断力・表現力等を高める手立てとなっている。</p> <p>さらに、本文中の新出漢字にルビを振り、脚注には音訓を示して類義語や意味調べ、短文作りを促すなど、基礎・基本の定着を図ることができる。</p>
書 写	東書	<p>朱墨の濃淡で穂先の動きを示され、基本の点画の書き方には、始筆、送筆、終筆を「とん」、「すう」、「ぴたっ」と擬態語を使うなど、基礎・基本の定着を図る内容の表現・表記となっている。</p> <p>また、巻頭には3年間で付けたい力と学んだことが生活に役立つ場面が示され、単元の最後には「振り返って話そう」が設定されており、主体的に取り組むことができる。</p> <p>さらに、デジタルコンテンツの動画には、ポイントを解説とともに視覚的に示す工夫がある。</p>
社 会 (地理的分野)	東書	<p>「世界の諸地域」の学習では、地域ごとに複数の資料を読み取る「資料から発見！」というコーナーが設定されており、技能を身に付けさせる工夫がある。</p> <p>また、「地域の在り方」を考える学習では、調査の手順と方法が示され、日本の諸地域の課題解決に向けて考察し、将来像を提案する構成上の工夫がある。</p> <p>さらに、各章末・各単元末にある「まとめの活動」において、多様な思考ツールを用いてまとめる方法や探求課題を解決するヒントが示され、目的に応じて適切に表現する力を育てることができる。</p>
社 会 (歴史的分野)	東書	<p>歴史学習をすすめる上で、情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする「スキル・アップ」のコーナーが設定され、基礎・基本の定着を図ることができる。</p> <p>また、各単元末にある時代の特色をまとめる活動は、くらげチャートやXチャート、ステップチャートなど多様な思考ツールを用いて、思考力・判断力・表現力等を育てることができる。</p> <p>さらに、本文ページ見開きのレイアウトを統一、本文の部分と資料の部分の色分け、左下に年表で学習する時代や年代が示されるなど内容の表現・表記が工夫されている。</p>
社 会 (公民的分野)	東書	<p>持続可能な社会の形成に向けて、SDGs から地球規模の課題について捉え、防災・安全など5つのテーマの優先度と解決策を考察させ、アクションプランとしてレポートにまとめる方法が設定されている。</p>

		<p>また、活動事例として「市長になって条例を作ろう」や「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」などリーダーとしての視点から社会参画を促すことにより、思考力・判断力・表現力等を育てることができる。</p> <p>さらに、本文ページのレイアウトを統一し、写真やグラフ、新聞などの資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をするなど内容の表現・表記が工夫されている。</p>
地 図	帝国	<p>A4判でインデックスを5つに分類し、色分けしているため、学習指導を効果的にすすめることができるようになっている。人口等の統計は2018年の新しいデータで記載されている。</p> <p>また、日本の気候と自然災害・防災の資料は学習の流れが示された構成や配列となっており、国土の特色に対する理解を深め、対策の方法について考えることができる。</p> <p>さらに、地図を活用した「学習課題」や「地図活用」のコーナーが設定され、目的に応じて適切に表現する力を育てることができる。</p>
数 学	学図	<p>授業の導入において、「Q」マークで示された問題に話し合い活動を取り入れる場面が設定されており、自分の考えを伝える活動を取り入れやすく、数学的な表現力を高めることができる内容となっている。</p> <p>また、吹き出しの活用が有効で、問題に対する考えが対話形式で示されていたり、解決に向けて必要とされる数学的な見方や考え方が適切に示されたりしており、見通しをもって論理的に考察することができるように工夫がされている。</p> <p>さらに、発展的な内容が豊富に取り入れられており、理解度や興味に応じて自らがすすんで取り組めるように構成されている。</p>
理 科	東書	<p>各単元の導入部分に「これまで学んだこと」を設定するとともに、関連する内容にも「これまで学んだこと」や「(教科名)で学んだこと」が単元を通して設けられており、既習したことを活用して基礎・基本の定着を図るための工夫がある。</p> <p>また、観察・実験ごとに、自らが結論を表現する活動が設定されており、科学的に探究する力を育成する工夫がされている。</p> <p>さらに、観察・実験の結果を分析・解釈する視点が効果的に示されていることにより、思考力・判断力・表現力等を高める言語活動の充実が図られている。</p>
音 楽 (一般)	教芸	<p>創作においては、鑑賞教材及び歌唱教材と関連付けて配列しており、既習曲の音のつながり方の特徴について確認し、旋律をつくるなど、基礎・基本の定着を図るための工夫がされている。</p> <p>また、鑑賞においては、聴き取ったことや感じ取ったことを記入する際の視点がスモールステップで示されており、言語活動の充実を図ることができる。</p> <p>さらに、様々な表現者のメッセージ等を写真とともに掲載し、音や音楽と生活との関わりについて関心を高める工夫がある。</p>

音 楽 (器楽合奏)	教芸	<p>目次に続く学習内容ページに、新学習指導要領で示されている資質・能力とそれに対応する学習内容や教材を図示しており、学習する際につけたい力を明確にしている。加えて、リコーダーの習得について、段階を踏んで行うことができるような構成となっている。</p> <p>また、アンサンブルセミナーのページでは、ページの左側に学習目標を示すとともに、学習内容に即した音楽を形づくっている要素を表記しており、ねらいが焦点化されている。</p>
美 術	日文	<p>題材の目標が、新学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力の3つの柱で整理されており、身に付けたい資質・能力が明確である。題材名とともに示されたサブタイトル、吹き出しで示された「造形的な視点」により、活動や目的を理解しやすくなっており、基礎・基本の定着を図る上で有効である。</p> <p>また、見開きや折り曲げの大型図版で掲載されている作品数が多く、作品の全体や細部の表現を見ることができるよう工夫されている。加えて、大判サイズで「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」の3冊で構成されており、掲載されている作品が大きく示され、学習指導を効果的にすすめることができるようになっている。</p>
保健体育	東書	<p>各単元の冒頭にある「見つける」で課題を発見し、各単元末の「活用する」「広げる」で事例などを生活に生かす内容が設定され、主体的で深い学びへつなげる工夫がされている。</p> <p>また、「課題の解決」に向けて、思考し判断する過程では、「他教科」マークや「D」マーク等でデジタル教材を活用しながら考えを深めることができる。掲載グラフなどの資料も多く、内容の構成・配列・分量に工夫がされている。</p> <p>さらに、「共に生きる」では、自然災害において、地域の中でお互いに助け合い、支え合い、自らの命を守る「共助」の視点で発展的に学習することができる。</p>
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<p>ガイダンスにおいて、見開きで「技術の見方・考え方」が掲載されており、電気ストーブにおける技術の工夫やしくみを例に挙げ、身近なものから科学的な原理・法則を踏まえた「技術の見方・考え方」について意識させるための工夫がある。</p> <p>また、題材の冒頭には、目標にせまる課題が明確に示され、思考力・判断力・表現力等を高める工夫がある。</p> <p>さらに、作業のこつを「動作のポイント」として写真とともに別立てで説明されており、製作実習における基礎・基本の定着を図ることができる。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<p>生活の課題と実践では、具体的な事例をあげて、課題の決め方についての流れが示されている。思考を整理するために、ダイヤモンドランキングなどの思考ツールが掲載してあり、主体的に実践していくために有効な手立てとなっている。加えて、巻末に「D」マークコンテンツ一覧があり、繰り返して学習内容を振り返ることができ、基礎的な技能の習得につなげることができる。</p> <p>また、実習の手順が見開きで左から右へとポイントとともに示され、本文や写真のレイアウトが効果的に配列されている。</p>

英 語	開隆堂	<p>各単元の冒頭にある基本文「Scenes」では、新出文法が肯定文や否定文、疑問文に合った表情のイラストで示され、基礎・基本の定着を図る内容の表現・表記となっている。</p> <p>また、「Retell」が單元ごとに対話形式で示され、「やり取り」を行う有効な手立てとなっている。「Interact」においては、学んだ内容を自己表現する場が設定され、主体的に学習する態度を育成することができる。</p> <p>さらに、巻末資料では領域ごとに学習到達度の振り返りを行う「英語で『できるようになったこと』リスト」が設けられ、目標をもって学習をすすめることができる。</p>
道徳	東書	<p>巻頭には、1年間の学習内容や学び方等が分かりやすく示されており、学ぶ意義や学習の見通しが持てるように工夫されている。加えて、考え議論する道徳の学習をすすめるために、「話し合いの手引き」や実際の話し合いの展開がイラストで示され、学習活動のイメージをつかみやすくしている。</p> <p>また、主体的に学習に取り組むために、問題解決的な学習を展開するよう工夫されている。複数の教材を効果的に組み合わせ、考えをより深める構成や自ら省みる力を高める「ACTION!」での役割演技等により、道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止め、自己を見つめ、考えることができるようにしている。</p>